

問1	生物がもつ形や性質のことを形質といいます。エンドウの種子の形が「丸」と「しわ」であるときのように、どちらか一方しか現れず、たがいに同時に現れることがない対をなす形質のことを何といいますか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 分離法則	2. 対立形質	3. 顕性形質	4. 潜性形質
問2	微生物と人間の生活との関わりについて述べた次の文のうち、科学的に正しいものはどれか。 （2021年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 微生物は発酵食品を作る際には役立つが、自然界で有機物を分解する能力は持っていない。	2. すべての微生物は人間に有益なはたらきをするため、病気の原因になるような微生物は存在しない。	3. 微生物は、みそやヨーグルトなどの発酵食品の製造や、下水処理場での水質浄化に利用されている。	4. 微生物は水質浄化には役立つが、食品の製造に利用されることはない。
問3	丸形の種子をつくる純系の個体と、しわ形の種子をつくる純系の個体を親として交配させたところ、得られた子の代の種子はすべて丸形であった。この子の代の種子を育てて開花させ、そこにしわ形の種子をつくる純系の個体の花粉を受粉させた。このとき、得られる次代の種子の形質の現れ方について述べたものとして正しいものはどれか。 （2019年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 丸形としわ形の種子が、ほぼ1：1の割合で現れる。	2. 丸形としわ形の種子が、ほぼ3：1の割合で現れる。	3. すべて丸形の種子になり、しわ形の種子は現れない。	4. 丸形としわ形の種子が、ほぼ1：3の割合で現れる。
問4	タマネギの根の伸び方を調べるために、根の先端付近を顕微鏡で観察した。細胞分裂の様子が最も活発に観察できる場所はどこか、適切な説明を選びなさい。 （2024年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 根の先端からわずかに内側にある、細胞分裂が盛んに行われている部分	2. 根の最も先端にある、細胞を保護するための根冠という組織	3. 根の基部に近い、水や肥料分を吸収するための根毛が生えている部分	4. 根の中心を通っている、光合成によってつくられた養分を運ぶための篩管
問5	メンデルが発見した「分離の法則」について、その内容を説明した文として正しいものはどれですか。 （2023年 高知県公立入試 類似）			
	1. 減数分裂によって対になっている遺伝子が分かれ、別々の生殖細胞に入ること	2. 対立形質のどちらか一方のみが、子に現れること	3. 受精によって、親の代にはなかった新しい遺伝子が突然生まれること	4. 異なる形質に関する複数の遺伝子が、互いに影響し合わずに独立して伝わること
問6	植物の根が伸びていく仕組みについて、根の先端付近にある、細胞分裂がさかに行われている部分の名称と、根が伸びる理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2021年 愛知県公立入試 類似）			
	1. 名称は根冠であり、古い細胞が新しい細胞を先端へと押し出すことで根が伸びる。	2. 名称は根毛であり、周囲の水分を吸収して細胞が膨らむことで根が伸びる。	3. 名称は成長点であり、根の基部にある細胞が先端に向かって移動することで根が伸びる。	4. 名称は成長点であり、そこで増えた細胞がそれぞれ縦に大きく成長することで根が伸びる。
問7	クジラのひれとヒトの腕のように、現在は形やはたらきが異なっても、もともとは同じつくりから生息環境に適するように変化したと考えられる器官を何といいますか。 （2024年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 痕跡器官	2. 相似器官	3. 相同器官	4. 感覚器官
問8	生態系において、自分で有機物をつくることができず、植物や他の生物を食べて自らの体内で必要な有機物を取り入れている生物を何と呼びますか。 （2026年 宮崎県公立入試 類似）			
	1. 分解者	2. 草食動物	3. 消費者	4. 生産者
問9	生物がもっている形や性質などの特徴のことで、親から子へと受け継がれるものを何といいますか。最も適切な用語を選びなさい。 （2026年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 進化	2. 形質	3. 適応	4. 変異
問10	微生物が有機物を分解する際、最終的に生成される物質の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 （2024年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 酸素と水	2. 二酸化炭素と水	3. 酸素とデンプン	4. 二酸化炭素とデンプン
問11	生物が子をつくる際、親の持つ対になった遺伝子が分かれ、それぞれ別々の生殖細胞に入るという決まりを何といいますか。 （2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 独立の法則	2. 分離の法則	3. 優性の法則	4. 不完全優性の法則
問12	細胞分裂の観察において、タマネギの根をうすい塩酸で処理した後にろ紙の上で指で押しつぶす操作を行います。もし塩酸での処理を忘れて押しつぶした場合、顕微鏡の視野の中ではどのような状態が観察されと考えられますか。 （2018年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 細胞が重なり合ったままの状態になり、個々の細胞の様子を詳しく見ることができない	2. 細胞が生き続けているため、細胞分裂が進行して静止した状態を観察できない	3. 細胞がすべて破裂してしまい、核や染色体の構造を確認することができない	4. 染色液が細胞内に浸透しなくなり、細胞全体が透明なまま変化しない
問13	丸い種子をつくる純系のエンドウと、しわのある種子をつくる純系のエンドウを掛け合わせたと、子の代ではすべて丸い種子となりました。このように、対立形質をもつ純系同士を掛け合わせたと、子に現れる方の形質を何といいますか。 （2015年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 劣性形質	2. 分離の法則	3. 優性形質	4. 独立の法則
問14	花粉を砂糖水に落として顕微鏡で観察したところ、花粉から長い管が伸び、その先端付近に小さな細胞が移動している様子が確認された。この現象と、その後の受精に至る過程の説明として正しいものはどれか、選びなさい。 （2023年 高知県公立入試 類似）			
	1. 花粉から伸びた花粉管の中を精細胞が移動し、胚珠内の卵細胞と合体する。	2. 花粉管は精細胞に栄養を送るための道であり、受精自体は花粉が直接胚珠に触れて行われる。	3. 花粉から伸びた花粉管の中を精子が泳いで移動し、胚珠内の卵細胞と合体する。	4. 花粉から伸びた花粉管の中を卵細胞が移動し、胚珠内の精細胞と合体する。